

2025 年 8 月 31 日 聖霊降臨後第 12 主日「ここにいます」

箴言 25: 6～7a ヘブライ 13: 1～ 8,15～16 ルカ 14: 1,7～14

「ここにいます」この言葉は尊敬の言葉です。「ここにいらっしゃる」「ここにおられる」というとても丁寧な言い方です。ここにおられる方は神さまです。

「尊い方が旅をして、私たちを救いに来られる」この思いは世界中、様々な場所信じられて来ました。今日の福音書で、イエスさまが語られるお話もまた、この人々の願いと深く結びついています。

イエスさまが「たとえ話」をされるのはいつも、私たちに天の国がどのような所なのかを教えるためです。今日の『婚宴に招待されたら』も同じです。ここでイエスさまは「天の国に私たちが招かれた時」について語られています。そこでイエスさまは「婚宴に招待されたら、上席に着いてはならない。」と語られます。

結婚式パーティーは、大きな喜びの時です。だからイエスさまは、いつか来る天の国に私たちが招かれた時のため、「上席に着いてはならない。」と教えられるのです。ではその上席とは何でしょう。

ギリシャ語 **πρωτοκλισία** プロトコシア を分解すると以下ようになります：

πρώτος (**prōtos**) = 「第一の」「最も上位の」「首位」

κλίνη / κλισία (klínē / klisía) = 「寝椅子」「長椅子」「食卓に着く席」 古代ギリシャやローマの食事は寝椅子に横たわって取られていました。そこから「宴席」「席次」の意味になります。したがって、**πρωτοκλισία** は直訳すると「最上席」「上席」「かしの席」という意味になります。

これは人の決めたものです。それに従う愚かをイエスさまは戒められます。神さまの前ですべての人は、等しく平等です。イエスさまは徹底して、驕り高ぶる者を厳しく諷められます。

「だれでも高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高められる。」

これはイエスさまが最後まで貫かれた生き方です。しかしそれはいつでも「権威ある者たち」にとって、本当に不愉快極まりない事でした。誰と一緒に食事をするかは、権威ある者として力を奮い、社会の高みにある人たちには、とても重要な事でした。そこで更に自分が何処の席に着くかが、そのまま自分の地位を示します。イエスさまはそんな生き方を軽やかに笑い飛ばします。

それだけではなく、イエスさまはさらに、イエスさまを食事に招いてくれた人にも、ピリッとスパイスの効いた、祝福の言葉を与えられます。

<昼食や夕食の会を催すときには、友人も、兄弟も、親類も、近所の金持ちも呼んではならない。その人たちも、あなたを招いてお返しをするかも知れないからである。> Lk.17:12

人が何かをする時、必ず見返りを求めています。最近「結果を出す」という言葉をよく聞きます。だがこれはこの世の理です。神の国は人間の考を遥かに越えた、神さまの愛によって、すべてが与えられる場所です。教会はその先取りです。今私たちは真剣に、主のこの祝福の御言葉を聞きましょう。

<宴会を催すときには、むしろ、貧しい人、体の不自由な人、足の不自由な人、目の見えない人を招きなさい。> Lk.17:13

素晴らしい集いはいつも、これです。教会の礼拝こそこのようであればなりません。礼拝だけでなく、すべての教会の営みは、体の不自由な人、足の不自由な人、目の見えない人、耳の聞こえない人、心の不自由な人、痛みと悲しみを抱える人たちのために、神さまの愛が広がっていく、具体的な働きです。

<そうすれば、その人たちはお返しができないから、あなたは幸いだ。正しい者たちが復活するとき、あなたは報われる。> Lk.17:14

神さまの恵みに誰がお返しなどできるでしょう。苦しみの中にある私たちに、神さまだけが与えてくださる救いこそが、神の義です。この本物の正義こそが、私たちをまことの自由に向けて、解放さ下さいます。それこそが神の愛です。

いま世界では戦争がくり返されています。日本では厳しい暑さが続き、これによって大雨の被害が止むことはありません。農作物は不作、家畜たちも生育不良に陥っています。食料品は値上げが続き、私たちの暮らしは苦しくなりました。野生動物も苦しんで、人里に降りて来て被害が増えています。また理解出来ない犯罪も増えています。

けれど私たちは希望を捨てません。神さまの愛を信じ互いに手をつなぎます。ここに神さまがともにおられる。それを信じて皆ともに、賛美の歌を高らかに、神さまに向かって歌い続けます。神さまの前に、人の上下はありません。人間の一体誰が、神さまの前で恐れずに、自分の正しさを誇ることが出来るでしょう。

絶望的なこの世界で、私たちは神さまの愛を頼りに、互いに仕え合って、祈りながらやさしさをもって、生きて行きましょう。ここが私たちのいる場所です。